

## News Release

# アクセンチュア、2002 会計年度(8 月期)、 および第 4 四半期の業績を発表

## 日本は前年度比 12%増の 421 億円\*

\*このリリースは 10 月 10 日にニューヨークで発表された資料(英文)を和訳したものです。

【ニューヨーク発、2002 年 10 月 10 日】

アクセンチュア (NYSE: ACN) は本日、2002 年 8 月 31 日を期末とする 2002 会計年度、および第 4 四半期の決算を発表致しました。

2002 会計年度通期のグローバル市場における売上収入 (「純収入」) は 115 億 7,000 万ドルと、前年度に比べて米国ドルベースで 1%増、現地通貨ベース\*では 2%増となりました。

\*現地通貨ベース：

各国のそれぞれの通貨ベースにおける加重平均成長率を三つの地域で集計、さらにグローバルで集計したものの。

本決算は 1 株当たり利益に関するアナリストのコンセンサス予想、および当社による営業収入に関する事前予想に則した内容であると共に、年間では 10 億ドル以上の営業キャッシュフローを生み出す結果となりました。また、当社は 2003 会計年度の営業収入と利益に関し、以前に発表された予想値を改めて確認いたしました。

日本国内の売上収入に関しては前年度比 12%増の 421 億円、アジア太平洋地域全体では 7 億 7500 万米ドルで、米ドルベースで 8%、現地通貨ベースで 4%の減少となりました。

<2002 会計年度\*業績 (\*2001 年 9 月 1 日～2002 年 8 月 31 日の 12 ヶ月)>

第 4 四半期に発生した投資の評価減、及び不動産の統合費用 1 億 1,100 万ドルを除く 1 株当たり利益 (希薄化後) は 0.91 ドルで、これに対し投資からの利益を除く 2001 会計年度の実質ベース利益は 1 株当たり 0.85 ドルでした。GAAP ベース\*による 2002 会計年度の 1 株当たり利益 (希薄化後) は 0.56 ドルでした。アクセンチュアは 2001 会計年度の当初の 9 ヶ月間は法人化されていなかったため、比較可能な 2001 会計年度の GAAP ベース 1 株当たり利益額は算定されておりません。この 1 億 1,100 万ドルの費用は、当社の固定費用をさらに削減して今後の節約を生むため、過剰な事業所スペースを世界的に統合する際に発生しました。

\*GAAP: Generally Accepted Accounting Principles: 一般的に公正・妥当と認められている会計基準。

GAAP ベースによる 2002 会計年度の営業利益は、売上収入の 12.0%に当たる 13 億 9,000 万ドルでした。不動産統合費用を除く 2002 会計年度の営業利益は売上収入の 12.9%に当たる 15 億ドルとなり、これに比べ 2001 会計年度の実質ベース利益は売上収入の 12.7%に当たる 14 億 5,000 万ドルでした。

2002 会計年度の少数株主持分損益前利益は、GAAP ベースで 5 億 7,600 万ドルでした。投資の評価減、及び不動産統合費用を除く当年度の少数株主持分損益前利益は 9 億 2,900 万ドルで、これに比べ投資からの利益を除く 2001 会計年度の実質ベース利益は 8 億 5,800 万ドルでした。

2001 会計年度の実質ベース財務情報は当社が当年度を通じて法人化されていたものと仮定しており、2001 年 5 月に当社が行った法人化、およびそれに続く株式公開に伴う一時的費用の影響は除外しています。

アクセンチュアの貸借対照表は引き続き健全です。当年度末時点での当社の現金預金は、第 3 四半期末から 2 億 300 万ドル増の 13 億ドルでした。2002 年 8 月 31 日時点での借入金総額は、第 3 四半期から 3,400 万ドル減の 6,700 万ドルでした。当年度の営業キャッシュフローは 10 億 6,000 万ドル、第 4 四半期は 5 億 1,700 万ドルでしたが、これらは運転資金の利用効率がさらに高まったことを反映したものです。

官公庁部門による当年度の売上収入は、2001 会計年度から 31%増の 13 億 2,000 万ドルでした。製造・流通業部門は 24 億 4,000 万ドルで同 4%増、素材・エネルギー部門は 20 億 1,000 万ドルで同 4%増、通信・ハイテク部門は 31 億 8,000 万ドルで同 2%減、金融サービス業部門は 26 億 2,000 万ドルで同 9%減となりました。

2002 年度の売上収入を地域別にみると、欧州／中東／アフリカ (EMEA) 地域では米ドルベースで 49 億 6,000 万ドル (前年比 11%増)、現地通貨ベースで同 9%の増加を記録しました。アメリカ大陸では 58 億 4,000 万ドルと前年度に比べて米ドルベースで 5%減、現地通貨ベースで 3%減でした。アジア太平洋地域では米ドルベースで 7 億 7,500 万ドル (同 8%減)、現地通貨ベースで同 4%減でした。

#### <2002 会計年度第 4 四半期\*\*業績 (\*\*2002 年 6 月 1 日から同 8 月 31 日までの 3 カ月間)>

2002 会計年度第 4 四半期の売上収入 (「純収入」) は予想通り 26 億 9,000 万ドルとなり、米ドルベースでは前年同期比 3%減、現地通貨ベースでは同 6%減でした。

当四半期の 1 株当たり利益 (希薄化後) は GAAP ベースで 0.08 ドルとなり、これに比べ前年同期の実質ベース 1 株当たり利益は 0.10 ドルでした。当四半期に発生した不動産統合費用と投資の評価減を除外した 1 株当たり利益 (希薄化後) は 0.16 ドルで、これに比べ前年同期に発生した投資の評価減を除外した前年同期の 1 株当たり利益は実質ベースで 0.15 ドルでした。

GAAP ベースによる当四半期の営業利益は、純収入の 5.5%にあたる 1 億 4,800 万ドルでした。不動産統合費用を除く当四半期の営業利益は純収入の 9.6%にあたる 2 億 5,800 万ドルとなり、これに比べ前年同期の実質ベース利益は売上収入の 9.2%にあたる 2 億 5,700 万ドルでした。

当四半期の少数株主持分損益前利益は、GAAP ベースで 7,800 万ドルでした。不動産統合費用及び投資の評価減を除く当四半期の少数株主持分損益前利益は 1 億 6,000 万ドルで、これに比べ投資の評価減を除く前年同期の実質ベース利益は 1 億 4,800 万ドルでした。

アクセンチュアでは顧客への高品質のサービス提供、最高の人材の採用と維持、および市場からの需要に応えた人員構成の再編を続けると述べています。当社は第 4 四半期に人員再編に伴う 1 億 2,500 万ドルの費用を計上しています。さらにパートナーとアソシエイト・パートナーに支払われる予定で計上されていた年次ボーナス費用および業績連動

型報酬額を1億4,000万ドル削減いたしました。これらの結果として営業費用は当四半期中に約1,500万ドル削減されました。

官公庁部門による当四半期の売上収入は、前年同期比19%増の3億2,800万ドルでした。通信・ハイテク部門による当期の売上収入は、同8%増の8億400万ドルでした。製造・流通業部門の売上収入は同9%減の5億3,200万ドルでした。金融サービス業部門の売上収入は同10%減の5億9,500万ドルでした。素材・エネルギー部門の売上収入は同14%減の4億3,200万ドルでした。

欧州／中東／アフリカ（EMEA）地域での当四半期の売上収入は11億1,000万ドルとなり、米ドルベースでは前年同期比2%増であるものの、現地通貨ベースでは7%減となりました。アメリカ大陸での当期の売上収入は13億9,000万ドルで、米ドルベースでは5%減、現地通貨ベースでは3%減でした。アジア太平洋地域での売上収入は1億8,700万ドルで、米ドルベースでは16%減、現地通貨ベースでは19%減でした。

アクセントゥアの会長兼CEO、ジョー・W・フォーハンド（Joe W. Forehand）は今回の決算に関し、次のように述べています。

「私共は困難な経済環境にも関わらず着実な業績を上げる自身の能力を喜ばしく思っております。また、弊社は健全な貸借対照表と共に堅実なファンダメンタルズを持ち、コスト管理、良好な業務見通し、および適切な人材の確保に取り組んでおります。これらの要因は、顧客の業績向上に向けて顧客と密接に業務を行うという経験と共に、弊社が今後とも不安定な市場において確固たる地位を維持することに役立つものと確信しております。」

当社はまた2003会計年度通期の営業収入増を0%～2%と予想しており、同じく2003会計年度での1株当たり利益額1.05ドルという見通しを改めて確認しました。

アクセントゥアは本日午前7時（東部時間）にカンファレンスコールを開催し、2002年第4四半期と通期の業績に関するご説明を致します。参加ご希望の方はカンファレンスコールの開始約15分前までに（888）276-0010[米国、プエルトリコ、カナダ以外の国からの場合、+1（612）332-7515]まで電話を掛けてください。また、カンファレンスコールはアクセントゥアのウェブサイト [www.accenture.com](http://www.accenture.com) の Investor Relations（インベスター・リレーションズ）のセクションにアクセスすると、ライブでご覧になれます。

カンファレンスコールのリプレイは、[www.accenture.com](http://www.accenture.com) にアクセスするか、または10月10日（木）午後12時15分から10月24日（木）午後11時59分（東部時間）までの間、（800）475-6701 [米国、プエルトリコ、カナダ以外からの場合、+1（320）365-3844]に電話を掛けてパスワード651897を入力してください。

###

このプレスリリースには将来の予測に関する記載が含まれており、その正確性についてはリスクと不確実性が伴うことを前提としております。実際の結果が記載もしくは予測から著しく異なる原因となる要因には、明示的および黙示的な一般経済状況、および米国証券取引委員会に提出済みのフォーム10-Kによる年次報告書およびフォーム10-Qによる四半期報告書を含め、同委員会に提出済みの報告書その他の文書の「リスク要因」の項に記載された要因などがあります。

## アクセントチュアについて

アクセントチュアは、経営コンサルティングとテクノロジー・サービスにおける世界的な先進企業です。アライアンスやベンチャーその他の手法を通じ、コンサルティングやアウトソーシングに関するノウハウを蓄積、独自のビジネスアプローチとそのネットワークにより、あらゆる業界の顧客企業が自身のビジョンを迅速に実現できるよう、革新的なアイデアと技術を提供します。アクセントチュアは世界 47 カ国に 7 万 5 千人以上の社員を擁し、2002 年 8 月 31 日を期末とする 2002 会計年度の売上高は 115 億 7 千万ドルでした（2001 年 7 月 19 日 NYSE 上場、略号：ACN）。

アクセントチュアの詳細は

[www.accenture.com](http://www.accenture.com) を、

アクセントチュア株式会社の詳細は

[www.accenture.com/jp](http://www.accenture.com/jp) をご覧ください。